

製品名: OTX2 マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM80992**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,IHC,ICC,ELISA,FC
反応性	人間、マウス、ラット、ウサギ、サル
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウムを含む PBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:200-1:1000,ICC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	32kDa

抗原情報

遺伝子名	OTX2
別名	MCOPS5; MGC45000
遺伝子 ID	5015.0
SwissProt ID	P32243
免疫原	大腸菌で発現したヒト OTX2 の精製された組み換え断片。

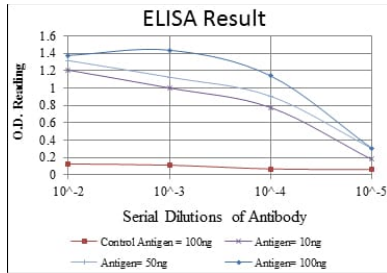
背景

この遺伝子は、ホメオドメイン含有転写因子の bicoid サブファミリーに属するタンパク質をコードしています。コードされているタンパク質は転写因子として作用し、脳および感覚器官の発達に関与している可能性があります。マウスでは、前脳の適切な発達に同

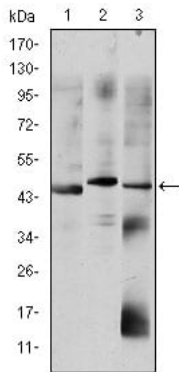
様のタンパク質が必要です。組織特異性：脳で発現します。

研究分野

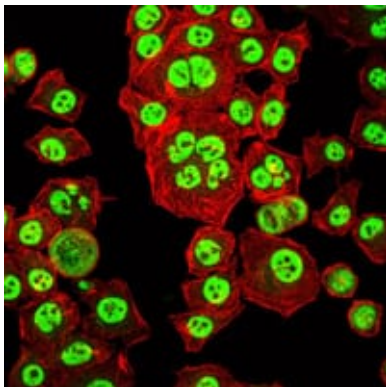
画像データ



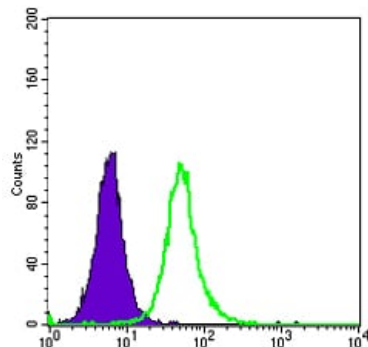
赤: コントロール抗原 (100 ng); 紫: 抗原 (10 ng); 緑: 抗原 (50 ng); 青: 抗原 (100 ng);



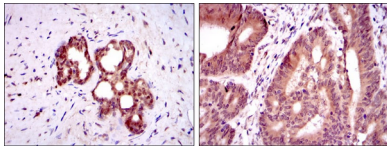
OTX2 マウス mAb を用いた HepG2 (1)、Jurkat (2)、および NTERA-2 (3) 細胞溶解物に対するウエスタンブロット解析。



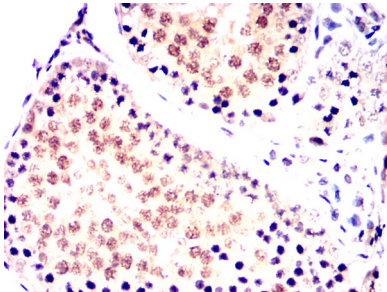
OTX2 マウス mAb (緑) を用いた HepG2 細胞の免疫蛍光染色。赤: アクチンフィラメントを Alexa Fluor-555 ファロイジンで標識した。



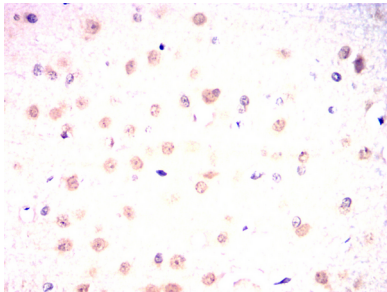
OTX2 マウス mAb (緑) とネガティブコントロール (紫) を使用した HepG2 細胞のフローサイトメトリー分析。



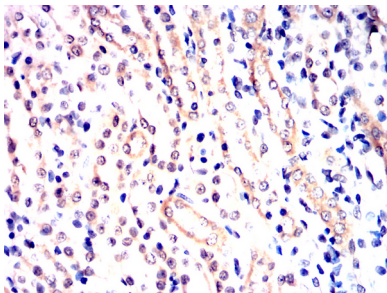
OTX2 マウス mAb と DAB 染色を使用した、パラフィン包埋ヒト前立腺組織 (左) と大腸癌組織 (右) の免疫組織化学分析。



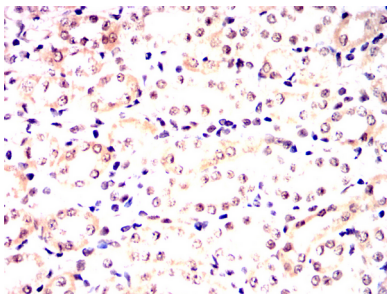
OTX2 マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋マウス精巣の免疫組織化学分析。



OTX2 マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋ラット脳の免疫組織化学分析。



OTX2 マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋ラット腎臓の免疫組織化学分析。



OTX2 マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋ウサギ腎臓の免疫組織化学分析。